

# 新人研修セミナー

## Web ページで学ぶロータリーの基本

---

本書は国際ロータリーの Web サイトの新会員のためのページをまとめたものです。

作成：2011 年 6 月 27 日

日本ロータリーE クラブ 2650

---

## 目 次

01. ロータリーの組織構成	2
02. クラブ会員の恩恵と特徴	3
03. ロータリーの基本理念	5
04. RI のプログラム	7
05. ロータリー財団	8
06. ロータリーの 2 億ドルチャレンジ	11
07. 重要な会合	12
08. ロータリーの未来	13
09. 会員の責務	14
10. 参加しよう	16
11. ロータリーについてもっと知ろう	17
12. 国際ロータリーの Web サイトの紹介	19
Memo	20

本書は、新会員のために RI の Web ページをまとめたものです。  
……RI Web ページで学ぶロータリーの基本……

## 01.ロータリーの組織構成

ロータリーは本来、草の根的な組織であり、その奉仕活動のほとんどがクラブレベルにおいて実施されています。地区および国際的な組織機構は、クラブがそれぞれの地元地域社会をはじめ海外において多くの奉仕を提供できるよう支援するものです。

### クラブ

ロータリアンは、[ロータリー・クラブ](#)の会員であり、クラブは国際ロータリー (RI) の世界的連合体に加盟しています。各クラブは、それぞれ独自に役員を選び、ロータリーの定款・細則の枠内で広範囲にわたり自治権を行使することができます。

### 地区

クラブは、530の[RI地区](#)に分けられ、RI役員である地区ガバナーが各地区を統轄します。そして、ガバナー補佐や各種委員会を含む地区管理機構がクラブを指導、支援します。

### RI 理事会

19名のメンバーからなる[RI理事会](#)は、[RI会長](#)と会長エレクトを含み、方針を設定するために四半期ごとに会合を開きます。毎年選ばれる国際ロータリー会長は、その年度のテーマおよび奉仕の強調事項を提示するのが伝統となっています。

### 事務局

国際ロータリーは、米国イリノイ州シカゴの郊外にあるエバンストンに[本部](#)を置き、[アルゼンチン](#)、[オーストラリア](#)、[ブラジル](#)、[インド](#)、[日本](#)、[韓国](#)、[スイス](#)の7カ国に国際事務局があります。イギリスのグレート・ブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー ([RIBI](#)) は、同地域のクラブおよび地区に奉仕業務を提供しています。事務局の最高執行責任者はRI事務総長で、世界中のロータリアンに支援業務を提供している740人の職員を率いています。

## 02.クラブ会員の恩恵と特徴

クラブは、ロータリーの礎であり、多くの有意義な活動が実施される場でもあります。すべての効果的なロータリー・クラブは、4つの重要な要素、すなわち「[会員基盤](#)の維持と拡大」「地元社会や海外の地域社会に恩恵を与える [プロジェクト](#)への参加」「財政的な貢献およびプログラムへの参加による [ロータリー財団](#)への支援」「クラブの枠を超えてロータリーにおいて奉仕できる [指導者の育成](#)」を果たす責任があります。

ロータリアンがロータリーから何を得られるかは、そのロータリアンがロータリーのために何をしたかによるところが大きいです。会員としての義務規定の多くは、会員が積極的にクラブで活動をし、その体験を楽しむことを目的に定められています。

### 奉仕

すべてのクラブは、地元の地域社会と世界中のニーズを抱えた人々のために奉仕を行うという重要な使命を共有しています。[クラブの奉仕プロジェクト](#)に参加することで、会員は、地元や国際的なプロジェクトに対するクラブのかかわりについて知り、自分の時間と能力が最も必要とされているところでボランティア奉仕活動にあたることができます。

### 会員の勧誘と維持

充実したクラブを維持するために、すべてのロータリアンは、新会員をロータリーに入会させるという責任を共有しなければなりません。新会員でも、例会にゲストを招いたり、奉仕プロジェクトに参加してもらうことができます。ロータリーの価値とは説明するまでもなく、会員候補者の関心を高める最善の方法は、実際に親睦と奉仕活動を体験してもらうことです。

もう一つの責務は、会員にロータリーへの関心を持ち続けてもらうことです。クラブの会員基盤を維持するための最善策の例として、クラブでの親睦活動を充実させたり、新会員に奉仕プロジェクトに参加してもらったり、クラブの運営にかかわってもらうことなどが挙げられます。

理想的なクラブの構成は、地域社会の多様性（職業、性別、年齢など）を反映させたものです。このような多様性によって、クラブの親睦や奉仕のあらゆる面が豊かになります。

## 出席

例会に出席することで、クラブでの親睦を深め、専門分野や個人的な知識を豊かにすることができます。クラブ例会の時間帯は、会員の家族や仕事の状況に応じてさまざまです。昼食時に集まるクラブもあれば、早朝、仕事後、夜間に集まるクラブもあります。

ロータリーの方針では、ロータリー年度の各半期間において、例会に少なくとも 50 パーセント出席することが会員に義務付けられています。会員が例会に出席できない場合は、世界中のいずれかの例会に出席してメイクアップすることによってロータリーの視野を広げるよう奨励されています。この慣行では、世界中どこでも温かく歓迎されることが保証されています。例会の場所と時間については、「Official Directory」(公式名簿)あるいは RI ウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) の「[クラブ所在地検索](#)」で調べることができます。

ロータリアンはまた、クラブの奉仕プロジェクトに参加したり、クラブ理事会、あるいはローターアクト・クラブまたはインターアクト・クラブの会合へ出席することで、欠席した [クラブ例会をメイクアップ](#) することができます。このほか会員は、オンラインによるロータリー [Eクラブ](#) でメイクアップすることが可能です。

## 03.ロータリーの基本理念

### 四つのテスト

事業と専門職務に携わるロータリアンが、職業生活において遵奉すべき「四つのテスト」は、1932年にロータリアンのハーバート J. テイラーにより創作されました。それ以来、世界 100 カ国語以上に翻訳されています。

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリーの歴史の中で、奉仕の理想と高い道徳的水準を達成するために、ロータリアンを導くいくつかの基本原則が導かれてきました。

### ロータリーの綱領

1910年に作成され、その後ロータリーの使命が拡大するにつれ修正されたロータリーの綱領は、組織の目的とクラブ会員の責務に関する明確な定義を提供するものです。

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

**第 1 奉仕の機会として知り合いを広めること。**

**第 2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。**

**第 3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。**

**第 4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。**

### 職業分類の原則

会員の事業または専門職務に基づき一つの職業分類を各会員に割り当てることにより、この制度は、各クラブ会員が地域社会の事業と専門職務の構造を反映できるようにするものです。クラブの規模によって、ある特定の職業分類を保有することのできる会員数が制限されています。その目標は、会員の職業の多様性を保つことによって、クラブの懇親的な雰囲気盛り上げ、奉仕プロジェクトを実施するための豊かな専門知識を提供し、クラブの指導者を育成することです。

## 奉仕部門

ロータリーの綱領に基づく奉仕部門は、ロータリーの精神的な礎であり、クラブ活動がよりどころとする基盤です。

- クラブ奉仕の主眼は、親睦を深め、クラブの機能を充実させることである。
- 職業奉仕はロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道德水準を実践することを奨励する。
- 社会奉仕は、地域社会の人々の生活の質を向上させるためにクラブが行うプロジェクトや活動を含む。
- 国際奉仕は、世界中でロータリーの人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動を含む。
- 新世代奉仕は、指導力養成活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて、青少年と若者によって好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

## 04.RI のプログラム

RI のプログラムおよび奉仕の機会、ロータリアンがそれぞれの地域社会におけるニーズに応え、また世界で支援を必要とする人々に手を差し伸べる目的で設置されています。

### 1.[インターアクト](#)

ロータリー・クラブが年齢 12 歳から 18 歳の青少年のためにこの奉仕組織を作り、支援しています。現在、世界で 133 の国や地域に 12,300 以上のクラブがあります。

### 2.[ローターアクト](#)

ロータリー・クラブが、18 歳から 30 歳までの青年男女のために、リーダーシップと職業的専門能力を開発することを目的とするこの奉仕組織を作り、支援しています。現在、167 の国や地域に 8,000 以上のクラブがあります。

### 3.[ロータリー地域社会共同隊 \(RCC\)](#)

ロータリー・クラブは、地域社会の向上のために活動するロータリアン以外の人々から成るこれらのグループを組織、支援しています。現在、世界で 78 の国や地域に 6,800 以上のロータリー地域社会共同隊が活動しています。

### 4.[ロータリー親睦活動グループおよびロータリアン行動グループ](#)

世界ネットワーク活動グループは、ロータリー親睦グループ（職業別および趣味別のグループ）とロータリアン行動グループ（奉仕活動関連のグループ）から成り、共通の関心を持つロータリアンやロータリアンの配偶者、ローターアクターなら誰でも参加することができます。現在、約 70 のグループがあります。

### 5.[ロータリー友情交換](#)

ロータリアンがチームまたは個人で、ときには家族同伴で、他国のロータリアンを互いに訪問しあい、それぞれの文化をじかに学びあう交流活動です。

### 6.[ロータリー・ボランティア](#)

ロータリアンや専門技能を有するその他の人々が、地元や海外の人的プロジェクトで奉仕し、体験する機会を提供します。

### 7.[ロータリー青少年交換](#)

クラブおよび地区が、1週間から1年間まで、文化交流のために海外に出る年齢15歳から19歳の学生を派遣し、また受け入れています。毎年、8,000人を超える青少年が参加しています。

#### 8.[ロータリー青少年指導者育成プログラム\(RYLA\)](#)

年齢14歳から30歳までの青少年および若年成人の指導力を助長し、奨励するために、クラブや地区がセミナーを支援しています。

#### 9.[世界社会奉仕\(WCS\)](#)

異なる二国にあるロータリー・クラブや地区が協同関係を組み、社会奉仕プロジェクトを実施します。www.rotary.orgの[ProjectLINK](#)は、資金、ボランティア、寄贈物資を必要としているロータリー・クラブと地区の奉仕プロジェクトが検索できるデータベースで、海外からの協同者を求めているプロジェクトの説明やプロジェクトの成功例が掲載されています。

## 05.ロータリー財団

非営利法人、国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

### 1.資金による支援

2008-09ロータリー年度、[ロータリー財団](#)は総額2億2,380万米ドルの寄付を受領し、クラブや地区が実施する人道的、教育的プログラム、ならびに世界ポリオ撲滅推進活動を支援するためにおよそ1億8,780万ドル以上を支給しました。寄付は、3つの主な基金に入れられます。

- [年次プログラム基金](#) は、財団プログラムを通じて補助金および奨学金を提供しています。
- [恒久基金](#) は、財団が長期的に活動していけるよう、収益の一部のみが財団プログラムの支援に回されます
- [ポリオ・プラス基金](#) は、ポリオのない世界を築くというロータリーの夢を支援しています。

財団への寄付の全額が、人道的、教育的、文化交流プログラムとプログラム運営のために使われます。クラブおよび地区は、世界中で多くの有意義なプロジェクトを実施するために、財団補助金を申請し、受領します。一人当たり年間100ドル以上の寄付を世界中に奨励することを目的とする「[毎年あなたも100ドルを](#)」推進活動は、極めて重要な財団プログラムを支援しています。

### 2.教育的プログラム

教育的プログラムは、異なる国や文化圏の人々を結び付けることで国際理解を推進します。

- [国際親善奨学金](#) は、大学生を対象とする国際的プログラムです。毎年、親善使節の役割を果たす学生、約500人を海外に派遣しています。
- [ロータリー平和フェローシップ](#) は、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のために設置された6つのロータリー・センターのいずれかの修士課程あるいは専門能力開発修了証プログラムで学ぶ学生を対象に授与されます。
- [研究グループ交換](#) は、文化および職業に関する短期交換プログラムです。ロータリアンではない、事業および専門職務に従事する25歳から40歳までの人々を対象としています。

### 3.人道的補助金プログラム

[人道的補助金プログラム](#) は、ロータリアンが、国際奉仕プロジェクトに対する支援を増やし、用水井戸、医療、識字能力向上、および人々が必要としているほかの奉仕事業を提供できるように援助します。これらの奉仕プロジェクトを成功させるためには、ロータリアンの参加が鍵となります。

- [マッチング・グラント](#) は、ロータリー・クラブや地区が、ほかの国のクラブと地区に協力して人道的プロジェクトを行うのを援助するものです。
- [地区補助金](#) は、地区が、地元や海外の地域社会に恩恵を与える奉仕活動や人道的努力を支えることを可能にします。

### 4.ポリオ・プラス

ポリオの撲滅はロータリーの最優先事項です。[ポリオ・プラス](#)・プログラムは、大規模な予防接種キャンペーンをはじめ、世界ポリオ撲滅の最終局面における役割を果たすために、社会動員や監視活動、研究を支援しています。全世界でポリオが撲滅されたと認定されるまでに、12 億ドル以上がロータリアンによって集められるだろうと予想されています。またこれまでに、何十万という時間をボランティア活動に捧げてきました。ロータリーは、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センター (CDC) といった機関とともに、世界からポリオを撲滅する推進活動を主導してきました。この努力の結果、20 億人を超える 5 歳未満の子供たちにポリオの予防接種が行われ、今日では、もし予防接種を受けていなかったとしたら身体麻痺に冒されていたかもしれない 500 万人の人々が自由に歩き回っています。この活動のおかげで、毎年 50 万人のポリオ感染が予防されているといわれ、世界中でポリオ症例件数は 99 パーセント減少しました。

## 06.ロータリーの2億ドルチャレンジ

2007年と2009年に、ポリオ撲滅活動におけるロータリーの率先的な活動を高く評価したビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から、1億米ドルと [2億5,500万米ドルの](#) 2件のチャレンジ補助金が寄付されました。

### 国際協議会でのビル・ゲイツ氏の講演

マイクロソフト創業者であるビル・ゲイツ(Bill Gates)氏が、2009年1月21日(水)、国際協議会において、ポリオ撲滅のためにビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団(Bill & Melinda Foundation)から国際ロータリーに巨額の補助金をさらに追加することを発表しました。

補助金は予防接種をはじめとするポリオ撲滅活動のために活用されています。ロータリーは、2012年6月30日までに総額2億ドルの上乗せ資金を拠出することを目標としており、このチャレンジを達成するため、世界中のロータリー・クラブはそれぞれ、募金活動を実施していくよう呼びかけられています。補助金と上乗せ資金から集められた5億5,500万ドルは、ロータリーの最優先事項を実現するための大きな原動力となるでしょう。



## 08.ロータリーの未来

これまで100年余りにわたって、世界各地の地域社会で奉仕を提供してきたロータリーは、これからも変わりゆく世界のニーズに応えられるよう万全の体制を整えています。

### RI 長期計画

RI 長期計画は、クラブの奉仕活動の拡大とその成果の広報活動を支援することにより、ロータリーの活動の主眼をクラブに絞るものです。この計画の三つの優先項目は、ロータリーの未来にとって同等の重要性を持っています。

- クラブのサポートと強化
- 人道的奉仕の重点化と増加
- 公共イメージと認知度の向上

この計画は、世界中のロータリアンを対象に実施されたロータリーの優先事項に関するアンケートや、ロータリーのイメージに関して各国で行われたフォーカスグループ(座談会)の結果を反映したものです。この計画はまた、クラブの最も得意とする奉仕の種類と未来の夢計画における重点分野とのつながりに重点を置き、RIとロータリー財団の方向性を統一させようと図るものでもあります。

### 未来の夢計画

ロータリー財団の [未来の夢計画](#) は、財団の活動の効率を高め、より長期的な取り組みに焦点を当てることを目指しています。この計画の新補助金構成の下、3年間にわたる試験期間が2010年7月に始まり、これに世界で約100のロータリー地区が参加しています。

これらの試験地区にあるクラブは、ポリオ・プラスおよびロータリー平和フェロシップを除く財団の現行のプログラムには一切参加しないことになっていますが、代わりに[試験地区](#)は、各地区が選んだプロジェクトを地元や海外で実施するために支給される「[新地区補助金](#)」、あるいは6つの重点分野(平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展)に取り組むプロジェクトおよび活動の支援に充てられる「[グローバル補助金](#)」を申請することができます。

試験期間中に、財団は現行の教育的補助金および人道的補助金を段階的に廃止し、2013年7月における全ロータリー地区の参加に向けて、この計画を調整していきます。

## 09.会員の責務

ロータリアンがロータリーから何を求めるかは、ロータリーのために何をしたかにかかっています。会員としての義務規定の多くは、ロータリー活動に全面的に参加し、その体験を楽しむことを目的に定められています。

### 出席

毎週、例会に出席することで、クラブでの親睦を深め、専門分野や個人的知識を豊かにすることができます。会員が所属クラブの例会に欠席した場合は、それを補うため、世界中に存在する[他のクラブ](#)の例会に出席して[メイクアップ](#)をし、ロータリーでの体験をさらに広げることが奨励されています。

### 奉仕

クラブの会員は、地元や海外での奉仕プロジェクトに参加し、自分の時間と才能を最大限に生かせるところでボランティア活動を行うことができます。以下の「五大奉仕部門」は、ロータリーの理念の礎であり、クラブ活動の土台を成しています。

- クラブ奉仕は、クラブ内の親睦を充実させ、クラブの機能を効果的に高めることを主眼とします。
- 職業奉仕は、ロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道德水準を実践することを奨励します。
- 社会奉仕は、地域社会の人々の生活の質を向上させるためにクラブが行うプロジェクトや活動です。
- 国際奉仕は、世界中におけるロータリーの人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動を含んでいます。
- 新世代奉仕は、指導力養成活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて、青少年と若者によって好ましい変化がもたらされることを認識するものです。

[ロータリーの親睦と奉仕についての詳細はこちらをご覧ください。](#)

### 新会員の推薦と現会員の維持

充実したクラブを保つためには、すべてのロータリアンが、新会員をロータリーに入会させるという責務を分かち合わなければなりません。[新会員](#)でも、クラブ例会にゲストを招いたり、奉仕プロジェクトに参加するよう誘うことができます。もう一つの責務は、会員にロータリーに積極的に参加してもらうことです。クラブの親睦を充実させ、奉仕プロジェクトに早期に参加するよう奨励することが、会員を維持する最善の方法です。

## 会費

クラブ会員には、クラブ、地区、国際ロータリーへの[会費](#)、ならびに該当するロータリー雑誌の定期購読料を支払う義務があります。

## リーダーシップ

クラブ会員には、クラブ内にとどまらず、クラブの枠を超えて指導力を発揮するよう奨励されています。地区で指導者としての役割を担う機会については、[地区指導者育成セミナー](#)のページおよび[クラブ委員会](#)のページをご覧ください。

## 10.参加しよう

### 地域社会での貢献

皆さんの地区には、参加できる機会が数多くあります。地区大会は、ロータリーについてより深く学び、地区が行っている有意義な活動の成果を祝う場です。また、来訪する[研究グループ交換](#)チームをホストとして受け入れたり、地区の[ロータリー青少年指導者養成プログラム\(RYLA\)](#)の計画を手伝うなどして、他のクラブとともに活動することもできます。こうした活動に参加することで、所属クラブ以外のロータリアンと出会い、親睦の輪を広げながら、奉仕の可能性も広がっていきます。

動画: <http://j.mp/f9lhSw>

### グローバルに参加する

ロータリーに国境はありません。年次 RI [国際大会](#)に出席すれば、世界中のロータリアンと出会い、クラブ活動や奉仕プロジェクトのアイデアを交換するなど、グローバルな体験をすることができます。[ロータリー親睦活動](#)にも参加し、同じ職業や関心を分かち合うロータリアンとのネットワークを築きましょう。国際的な活動に参加することで、世界平和と理解の実現を目指す事業経営者や専門職業人のグローバルなネットワークの一員となることができます。

### [ロータリー・ボランティア](#)

プログラムは、「超我の奉仕」というロータリーの標語を体現するプログラムです。このプログラムは、ロータリアンが職業的なスキルを実際に生かしながら、直接プロジェクトに参加するものです。

### RIに登録されている[クラブや地区のウェブサイトを検索](#)

し、他のクラブや地域、近隣地域や世界各地でどのような活動が行われているのかを調べることができます。クラブの枠を超えてロータリーを体験したいという方は、地区のウェブサイトから地区大会に登録することができます。

### その他の参考資料

#### [会員増強のビデオセット](#)

ロータリーについて独習したいという方は、ロータリーの[Eラーニング](#)・センターの資料で、自分のペースに合わせて自由に学ぶことができます。

#### [新会員のフィードバック書式（意見箱）](#)

#### [RI カタログ](#)

#### [RI 出版物注文用紙](#)または[オンラインショップ](#)

## 11.ロータリーについてもっと知ろう

ロータリーは、多様な側面を持つ大きな組織です。国際ロータリーについての知識を深める方法をいくつかご紹介しましょう。

ウェブサイトの[ロータリーEラーニング・センター](#)を訪れ、新会員向けの学習資料をご利用ください。

- ・ RI のウェブサイトのほかのページも閲覧し、最新のニュースや情報を読む
- ・ ロータリーの雑誌、クラブや地区のニュースレターに毎月目を通す
- ・ 地区のウェブサイトを訪れ、地区内の活動について知識を深める
- ・ RI のカタログ(冊子または[オンライン](#))から、以下の資料を注文する
  - 「ロータリーの基本知識」(595A-JA)\*
  - 「ロータリーのいろは」(363-JA)
  - 「ロータリー財団申請手続早見用手引き」(219-JA)\*
  - 「活動する地域社会:効果的なプロジェクトのための手引き」(605A-JA)\*
  - 「RVM:ザ・ロータリアン・ビデオ・マガジン」(510-DVD)RVM
  - 「国際ロータリー年次報告」(187A-JA)\*
  - 「ロータリー財団年次報告」(187B-JA)\*

\*印の付いた資料は[ダウンロード](#)が可能です。

ロータリーのウェブサイトには、[最新ニュース](#)のほか、地区のウェブサイトへのリンクや、RI ならびにロータリー財団の各種プログラムに関する情報も掲載されています。また、大会登録、財団への寄付をはじめとするロータリーの手続きの多くをオンラインで行うことができます。

RI は、ロータリーと財団の全側面を網羅する出版物など広範な資料をロータリアンに提供しています。[これらの資料はオンラインのカタログでご覧いただけます。](#)なお、各クラブには印刷版のカタログ(日本語版)と注文用紙も送られていますので、ご覧になりたい方はクラブ幹事にお問い合わせください。

### クラブに聞いてみましょう

クラブで積極的に行動し、ロータリーの知識を深めるために、まずは、クラブで次のような質問をしてみましょう。

- 自分の技能を生かせるのはどのクラブ委員会か
- クラブではどのような社会奉仕プロジェクトを提唱しているか

- [世界社会奉仕](#)、[青少年交換](#)、[ローターアクト](#)、[ロータリー青少年指導者養成プログラム\(RYLA\)](#)などのプログラムにクラブは参加しているか
- どのようにクラブ役員の助けとなれるか
- 質問がある場合には、クラブの誰に尋ねればよいか
- 国際奉仕に参加する機会にはどのようなものがあるか
- クラブの例会で挨拶係(歓迎役)務めることはできるか
- 出席のメイクアップを行う場所をどのように見つけるか
- 地区大会はいつか

## 12.国際ロータリーの Web サイトの紹介

### ◆国際ロータリーの Web サイト

[http://www.rotary.org/Rldocuments/ja\\_html/elearn\\_web\\_tour\\_ja.htm](http://www.rotary.org/Rldocuments/ja_html/elearn_web_tour_ja.htm)

短縮 URL <http://j.mp/fejapL>

1. [www.rotary.org](http://www.rotary.org) を開く

2. ロータリーEラーニング・センターを開く

<http://www.rotary.org/ja/members/training/forallrotarians/pages/elearning.aspx>

短縮 URL <http://j.mp/h5LWgl>

---

### ◆ロータリージャパン(ロータリーの友含む)

<http://www.rotary.or.jp/index.html>

### ◆ロータリーの原流(RI2680 地区 PDG 田中 毅主宰)

<http://www1.odn.ne.jp/~caz52570/>

### ◆ロータリー文庫(コピーサービスあり)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

### ◆大和高田 RC ホームページ(ロータリー情報のページ参照)

<http://www6.ocn.ne.jp/~ytrotary/>

### ◆E クラブの Web サイト

・日本初の E クラブ

<http://www.rotaryclub2650japan.org>

編集:杉田 博([大和高田 RC](#))

(2011/June 現在)

Memo: